

10～12月の行事等のご案内

10月 秋の遠足（聚楽園・大池公園） ゆうあい祭 10月21日
 11月 焼き芋・さんま BBQ
 12月 クリスマス会 餅つき大会
 葵幼稚園お遊戯会 おでん



今年も施設の一大イベント「ゆうあい祭」を開催します。是非一緒にご参加ください。



やってきました「食欲の秋」!秋の味覚を堪能します。1階玄関先にて開催します。



葵幼稚園の園児さん達がステキな踊りや歌の披露をします。お楽しみに!

写真は、昨年度の風景です。

皆様に喜んでいただけるイベント・行事を行います。

BBQ(職員交流)



7/14, 19, 25の3日間に分けて、職員で知多半島へバーベキューに行ってきました。3日間とも気温が高く、37度以上の猛暑の中、汗を流しながらのバーベキューとなりましたが、スポーツ飲料を沢山用意してしっかり水分補給をしながら、職員皆楽しみながら行うことができました。

今回のバーベキューは、職員だけでなく、職員の家族も参加しています。そのおかげか、参加率は8割以上という高い数字を出せました。特に子どもを連れてくる職員が多く、子どもの元気さにこちらもエネルギーをもらい、一緒にバンジーやアスレチックで遊ぶ職員もいました。

皆で協力しながら楽しく盛り上がり、美味しいお肉も堪能でき、リフレッシュできました。また、日頃のチームワークを発揮してお肉を焼き、チームワークの大切さを改めて実感することもできた、充実したバーベキューとなりました。

職員募集

現在、ゆうあいの里では介護職員を募集しています。勤務日、勤務時間は相談に応じます。未経験者歓迎です。興味をお持ちいただけたら、お問い合わせください。

特別養護老人ホーム ゆうあいの里大同

介護 正社員・パート募集

仕事内容

高齢者日常生活介護、食事介助、排泄

TEL 052-612-3030

詳細はお問い合わせ下さい

未経験者歓迎!



編集後記

今年の夏は、とても暑く、いつまでこの暑さが続くのかと毎日げんなりしていましたが、気付けばそんな厳しい夏もすっかり去って、過ごしやすい気候になりました。今回で「ゆうあい通信」も丁度10回目となりました。一昨年から始めたこの「ゆうあい通信」もとうとう2ケタに突入したかと思うと、感慨深いです。これからも皆様に楽しんでいただける季刊誌を目指して発行を続けていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

7月に車いすの寄付を受けました。寄付された車いすは早速入居者の方に使っていただいています。ありがとうございました。

職員コラム

我が家のカレンダーには日にちごとに、日・日直・休の文字が書かれています。御察しの通り、日は日勤、日直は日勤宿直、休は休日で、それは私の勤務のことです。子供たちには、私の休日を前もって教えないようにしていましたが、とうとう意味が分かるようになりました。平日の休みは、子育てから解放されていましたが、夏休み期間はそうはいきません。普段は朝寝坊の子供たちが、私の休みの日は、6時半に起きてきて「どこに連れてってくれるの?」と催促されます。近くの公園へ蟬取りに行くことを提案しますが「それなら一人で行って来て」とクールな返事が返ってきます。期待値が高いのです。1月半のながい夏休みですが、我が家の子供たちは宿題は後回しでお盆過ぎまで夏休みを謳歌しました。そのため、8月後半の私の休日は子供たちの宿題のお手伝いに追われることになりました。仕事も勉強も「計画」が大切だと改めて学ぶことができました。 Y



ゆうあい通信 2018年10月(第10号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076

ゆうあい通信

2018年10月(第10号)



【理念】

人の心を大切に、皆様に安らぎと感動を提供することが、私たちの使命です。

【基本方針】

- ・利用者様の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

災害時の対応



今年の夏は、西日本が豪雨で大きな被害を受け、この地方も台風21号の被害を受けました。強風と大雨が襲い、当施設でも職員に帰宅命令を出したりなどしました。そのようなことを踏まえて、当施設では、これまでも毎月防災訓練を行うなどしてもしもの時の災害に備えてきましたが、改めて災害時の行動について考えなければならないと強く思いました。

そこで、全職員に自宅からゆうあいの里大同まで徒歩で来るとどのくらいの距離があるかの聞き取りをし、その情報をリスト化しました。もし公共交通機関が止まってしまった際、どの職員がどれくらいの時間で施設まで来れるのか、またどの職員が距離的に来ることができないかを把握するためです。

その結果、自宅からゆうあいの里まで5km圏内にいる職員は約5割いることが分かりました。もし、公共交通機関が止まった場合、この5割の職員が、ゆうあいの里に来て対応をします。

もし、地震、水害等の大災害が起き、施設の安否確認をしたい場合は、「災害用伝言ダイヤル(171)」で施設の安否情報を登録しますので、そちらでご確認いただけます。ご利用ください。

レクリエーション紹介



ボール当てゲーム

入居者には2グループに分かれ、輪になってもらいます。

車椅子に座ったままでも参加できます。輪の中心に置いてあるボールを当てて枠を越えると得点をゲットできます。ボールの色や大きさによってそれぞれ得点が違う為、皆さん高得点を狙い集中されておりました。 Yさん「当てるのは難しかったけど、こりゃ〜視力も良くなるね」とおっしゃられておりました。非常に盛り上がる内容でしたので、次回も是非企画していきたいと思ひます。

魚釣りゲーム



ブルーシートに敷かれた魚の絵が描かれたマグネットを手作りの釣り竿で釣って

いくゲームです。マグロ、アジ、タコなどの魚介類をカラー印刷して裏には各々得点が書かれてあります。どの魚が高得点かは釣ってみてのお楽しみ♪実際には巨大なサメが高得点でした。手作りの釣り竿はタコ糸の先端にマグネットをつけました。 Mさん「簡単そうで実際にやってみるとなかなか難しい!!」とのことで、次回も魚を増やしてゲームを企画していきたいと思ひております。その他次のようなレクも行いました。

借り物競争



風船バレー



輪投げレク



移乗介助技術について

ベッドから車椅子へ・または車椅子からベッドへの移乗介助では、安全に行わないと入居者さんの手や足が車椅子や柵などにぶつかり、皮膚剥離や内出血につながりやすいので、注意が必要です。また移乗介助時の無理な姿勢などにより介護職員の腰痛などが起こる可能性もあります。安全に移乗介助を行うためには、正しい知識と技術を用いる事が大切です。力まかせに行ってしまうと、さらに転倒や腰痛の危険が増えます。安全・安楽に行うとともに、入居者さんの残存機能の低下を防ぐ為にも出来る限り両足に力を入れて立ち上がる事もリハビリ訓練につながり、重要です。



また介護職員一人で移乗を行うケースと二人で平行移乗をするケースがあります。入居者さんの身体機能に合わせて十分なアセスメントや話し合いのもと選定します。私たちが目指すものは「安全で安心感を持って頂ける援助」です。移乗介助時、入居者さんに不安や恐怖感を与えないように介護職員一人一人の介護技術のスキルアップを目指しています。

施設内での健康管理と病院との連携

ゆうあいの里大同の施設医は「いまい内科クリニック」の「今井健次医師」です。週に3回（火・木・土の午後）施設で回診を行います。入居者は月に1～2回定期的に診察を受け、必要なお薬の処方をしてもらいます。勿論、定期診察以外でも調子の悪い時は診察を受け、検査や内服以外の治療が必要と判断された場合は協力病院である「だいどうクリニック」、緊急の場合は「大同病院の救急外来」へ受診します。その際は、施設医が診療情報提供書（紹介状）を用意します。

病状により入院となる事もありますが、回復して施設へ戻る際には、大同病院の担当医から施設医へ入院中の経過について報告があります。

施設では基本的に、採血やレントゲンなどの検査、点滴等の治療が出来ない為、大同病院と連携を取りながら入居者の健康管理に努めています。

インフルエンザ対策

今年は例年よりインフルエンザの流行が早いです。施設でも、インフルエンザ対策を始めていきます。職員全員、インフルエンザ予防を意識して動いていきます。ご家族様もご協力お願いします。

簡単減塩！乳和食のレシピ①

前回は乳和食の特徴についてお話をさせていただきましたが、今回はレシピについてご紹介します。

ミルク茶碗蒸し

材料(2人分)

卵 1個、牛乳 350ml、塩 小さじ1/2、しょうゆ 小さじ1/2、ゆずの皮 1/4個分、みつば(長さ3cmにカット) 8本

作り方

- ①大きめ(500ml)の計量カップに卵を入れて溶きほぐす。牛乳を少量ずつ混ぜながら、塩、しょうゆを加える。
- ②器にゆずの皮と三つ葉を入れて①を等分に注ぎ、1個ずつ蓋またはラップをする
- ③鍋に約2cmの高さまで水を入れ、②を入れて蓋をし、強火で2～3分、

カルシウムが通常より6倍もUP！
(通常17mg⇒103mgへ)
塩分も1.0gから0.5gへ50%カット出来ます！



だしの代わりに牛乳を使用することでコクが加わり美味しくなりました♪

ご家族へのご連絡について

ご病気等で急に様子が変わった時は勿論ですが、以前と比べて体重や食事量が減っている、最近元気がない、足腰が弱くなってきた、体のどこかに内出血が発見されたなど、入居者の様々な変化をすぐご家族にお伝えして情報を共有するというのが当施設の方針です。ご家族へ電話をすると「何かあったのかと思った」と驚かれることもあります、ご理解ください。



また、緊急時にご家族と連絡がとれないのは大変困りますので、常に連絡が取れるようにして、電話番号が変わった時や、旅行等で連絡がとれなくなる場合は、施設にご連絡をしていただくよう重ねてお願いいたします。

7月～9月の行事風景



7月 名古屋港花火大会かき氷 吹奏楽演奏など



毎年海の日に開催される名古屋市の恒例花火大会！ゆうあいの里大同から綺麗な打ち上げ花火が見る事ができます。今年も中庭にでて皆さまと一緒に花火観賞会を行いました。夏といえばやはり花火ですね！思い出に残るイベントになりました。また7月喫茶イベントにてかき氷作りを体験しました。レモンや抹茶など好みのかき氷を作りました。

今年も猛暑を吹き飛ばすような楽しいイベントを開催しました。

8月 花火イベント スイカ割り



施設玄関先にて手持ち花火や噴き上げ花火を行いました。スイカ割りイベントも開催しました。大きくて固いスイカは簡単には割れずに皆様かなり苦戦しておりましたが、見事に割れたスイカをおやつに提供しました。とてもおいしかったです。

9月 歌謡ショー あんぱん 秋の遠足



少しずつ気温も寒くなってきました。9月イベントでは遠足で聚楽園や大池公園に散歩に出かけました。また、「感謝の会」による歌謡ショーを開催しました。憧れのハワイ航路はいつも大盛り上がり♪また、三味線の演奏はとても圧巻でした。

車いす体験記(その2)

5月の初めに右足を骨折してしまいましたが、数か月前からゴールデンウィーク明けに北海道旅行を計画しており、キャンセルするのも勿体ないので施設で車椅子を借りて北海道へ行ってきました。空港では職員の方にやさしく心のある声掛けをしてもらえました。これは施設での仕事にも通じるものがあり、心のある声掛けは相手に伝わるんだと感じました。飛行機の搭乗では空港職員の方に初めて車椅子を押してもらいました。「自分が押してもらうなんて」と、とても恥ずかしかったですが良い経験ができました。北海道ではレンタカーを借り旭川の旭山動物園に行っ

きました。旭山と言うだけあり本当に山にある為坂が多く、車椅子では大変でしたが気合で行ってきました。普段歩いている時には感じない些細な段差でも車椅子では登れなかったり、溝にタイヤがはまってしまったりと車椅子の大変さを感じました。また、そうやって長い時間車椅子に座っていると、お尻が痛くなり、何度もお尻を浮かしていました。

今回車椅子で過ごした日々は、入居者が感じている不便を感じることができ、その中で嬉しい手助けや心遣いも知ることができた、とても有意義な経験でした。この経験を、これからの介護業務に生かし続けたいと思っています。

